

多摩市ごみ減量協働プラン（原案）に関するパブリックコメントと市の考え方

処理区分

1 = プランに盛り込むもの

2 = 意見の主旨等は、プランに盛り込み済みのもの

3 = プランに盛り込まないもの、今後の検討課題等

4 = その他

No.	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	処理区分	原案該当箇所
1	<p>原案の閲覧可能な場所が少ない。これで、協働プランと言えるのだろうか。</p>	<p>「多摩市ごみ減量協働プラン(原案)」についてのパブリックコメント（意見募集）は、市役所本庁舎の他に、市内図書館、関戸・永山公民館、多摩センター出張所、エコプラザ多摩に各2部を配布し閲覧いたしました。市民の方々の身近な公共施設で閲覧できるように配慮をすると共に、多摩市公式ホームページ内にも掲載し、24時間閲覧できるようにしました。また、ご意見についても、郵送・持参の他にEメールでも受け付け、市民の方々の利便性を高める努力をしました。</p> <p>今後の進め方については、パブリックコメントに対する市の考え方を公表すると共に、提出された意見を参考に原案を修正し、計画として位置づけます。また、このプランについても、今後の計画の実施については、これから市民・事業者の方々と、協働して進めていきたいと考えています。</p>	4	—
2	<p>医療費等が値上げされる中では、ごみ有料袋の負担が重い。</p>	<p>多摩市の指定収集袋の価格設定（ごみ処理手数料）につきましては、現在検討中です。近隣の自治体の例では、スーパーのレジ袋サイズ（10ℓ）が15円から20円となっており、1世帯当たり1ヶ月500円程度を目安にしています。</p> <p>また、生活弱者の方々への配慮として、生活保護等の受給世帯に一定程度の指定袋を無料で配布、剪定枝・落ち葉等の無料収集、おむつ袋・ボランティア袋の配布等も予定しています。あわせて、各家庭より必ず排出される生ごみの対策として、生ごみ処理機器の購入費補助制度の充実や、ベランダ等で簡単にできる生ご</p>	2	<p>第三章 1.ごみ減量の目標とごみ量の予測</p>

多摩市ごみ減量協働プラン（原案）に関するパブリックコメントと市の考え方

処理区分

1 = プランに盛り込むもの

2 = 意見の主旨等は、プランに盛り込み済みのもの

3 = プランに盛り込まないもの、今後の検討課題等

4 = その他

		み堆肥化の指導員派遣制度の導入も検討しています。		
3	<p>他市の方から、有料指定袋を導入した際に、当初はごみが減ったが、その後増加していると聞いており、有料化がごみ減量に効果があるか疑問だ。</p>	<p>日野市については、多摩市がダストボックスを廃止した平成 12 年 10 月に、ダストボックスの廃止と指定収集袋の導入を行いました。平成 13 年度のごみ量で、多摩市と比較すると、日野市のごみ減量率が多摩市の 2 倍の 45.8% となり、ごみ排出量が多摩地域 31 市町村中 30 位から 2 位となり、継続して上位にいます。</p> <p>また、八王子市については、平成 16 年 10 月に指定収集袋の導入を行いました。平成 17 年度は多摩地域の家庭系総ごみ量（資源含む）が 631.1 g（1 人 1 日当たり）と最も少なく、多摩地域の 1 位となりました。ちなみに多摩市は、680.9 g です。</p> <p>指定収集袋を導入した自治体は、導入前に市民の方々が多量排出（駆け込みごみ）をするために、実施後 1 年間は大幅に減量しますが、導入 2 年後以降は落ち着くために、初年度よりごみ量が増加したように見られています。しかし、どの自治体のデータを見ても、導入前のごみ量と比較して、12～30% 程度のごみ減量を達成し、指定収集袋（有料）導入前のごみ量に戻った自治体はありません。</p>	4	<p>第 II 章 2 ごみ量の推移 (4) 多摩地域の他市との比較</p>
4	<p>プランの中で、清掃工場でのごみ発電で 2 億円の収入を得ているとのこと。有料化による収入ではなく、有料化に関わる間接的経費の無駄遣いの方が問題だ。</p>	<p>多摩市のごみを処理している多摩ニュータウン環境組合清掃工場では、ご意見のようにごみ発電や温熱利用によるサーマルリサイクルをしています。原案の中の 2 億円以上の運転効果というのは、売電による直接収入 5,000 万円程度のほかに、温水プールや総合福祉センターの温熱利用を光熱水費に換算した場合の経費を加算したものです。しかし、清掃工場</p>	4	<p>第 III 章 6 安全に配慮したごみ処理</p>

多摩市ごみ減量協働プラン（原案）に関するパブリックコメントと市の考え方

処理区分

1 = プランに盛り込むもの

2 = 意見の主旨等は、プランに盛り込み済みのもの

3 = プランに盛り込まないもの、今後の検討課題等

4 = その他

		<p>の運転にかかわる負担金は、売電の収入を差し引いて、年間 7 億円となっており、ごみの焼却によって新たな収入を得る程の効果はありません。</p> <p>また、間接的経費については絶えず見直しを行い、経費の削減に努めているところです。</p>		
5	<p>一度廃案になったごみ袋有料化案について、また持ち出すことは本当に理解できない。</p> <p>他市がごみ袋有料化をしているから多摩市もやるという考えは、独自性がない。原案 2 「協働による資源循環（リサイクル）の推進」の取り組みについてまず行って、その有効性を検討してみてもどうか。</p>	<p>平成 17 年 12 月議会において、有料指定袋導入に向けた条例改正案は、建設環境常任委員会において審議され、賛成 1 ・反対 2 ・継続 2 という、審査未了廃案という結果に終わりました。これは、賛成でも反対でもなく、意見が一致しないために改正案が再検討となったと考えています。</p> <p>ご意見いただいたように、東京都市長会での申し合わせに基づき、近隣自治体同様に家庭系ごみ有料化の導入をするには、「有料化の前にできることを徹底すべき」という意見も議会の中で討論されたところです。そこで、市では、昨年から続けている拠点・地域・出前説明会の参加者、延べ 8,000 名の方々からのご意見を参考に、今回の「多摩市ごみ減量協働プラン(原案)」を策定し、再度市民の方々のご意見を募集しました。</p> <p>原案Ⅲ-2 「協働による資源循環の推進」については、ごみ減量意識の高揚・資源集団回収事業・販売店舗店頭回収・レジ袋削減とマイバッグ運動・生ごみ自家処理等に取り組んでいますが、市が目標とする 15%のごみ減量には、至らない実情です。ごみ減量の動機付けについては、指定収集袋の導入が効果的であると考えます。</p>	2	<p>第Ⅲ章 2 協働による資源循環（リサイクル）の推進</p>